

下水管非開削で撤去

三井建設が
共同で開発

さや管式など3種

三井建設は18日、機動建設工業（大阪市福島区、木村信彦社長）と共

同で、老朽化などで不要になった下水道などの管を非開削で除去できる工法を石川島播磨重工業の協力を得て開発したと発表した。

これまで不要になった管の撤去や更新は開削工事だったため、地上の交通などへの影響も大きかった。新工法は、非開削での施工が可能で、都市

再生の技術として積極提案していく。

新工法は、既設管を覆うようにケーシング（さや管）を敷設しながら既設管を回収する「さや管方式」、既設管内に油圧式グリッパを配置し、グリッパで既設管を引き抜く「引き抜き工法」、土圧加水式推進機に装備したカッタービットで既設管を破碎する破碎方式の3方式を現場状況に応じて選択できる。